

情報連絡員報告総括表(令和元年12月分)

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 39名 (98%)

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況		
		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化
製 造 業	食 料 品	1	3			4		1	3			4			3	1		3	1		4			4			2	2
	織 維 工 業		1	2		3			3			3			2	1		3			2	1		3			1	2
	木 材 ・ 木 製 品			1		1			1			1				1		1				1		1				1
	紙 ・ 紙 加 工 品			2	1	1			1	1		1	1			2		2			1	1		2				2
	印 刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1	
	化 学 ・ ゴ ム																											
	窯 業 ・ 土 石 製 品			3		3			3			3			1	2		3			2	1		3			1	2
	鉄 鋼 ・ 金 属			1			1			1			1			1		1				1		1				1
	一 般 機 器		1	2		3			3			3			1	2		2	1		1	2		3			1	2
	電 気 機 器			1		1			1			1				1			1			1		1				1
	輸 送 機 器			1			1			1			1				1					1		1				1
	そ の 他																											
小 計		1	6	13	1	17	2	1	18	1		18	2		9	11		16	4		11	9		20			6	14
非 製 造 業	卸 売 業		1	1		2			1	1			2			1	1		2				2			1	1	
	小 売 業	1	1	3	1	3	1	3	1	1		4	1		2	2	1	2	3				4	1		1	4	
	商 店 街			1		1			1			1			1			1						1			1	
	サ ー ビ ス 業		3	2				1	4			5			4	1		4	1				4	1			4	1
	建 設 業	2	2						4		1	3		1	3		1	3					4		1	3		
	運 輸 業		1						1			1			1			1						1			1	
	そ の 他		1						1			1			1			1					1			1		
小 計		3	9	7	1	6	1	5	13	1	1	17	1	1	13	4	2	13	5				15	4	1	10	8	
合 計		4	15	20	2	23	3	6	31	2	1	35	3	1	22	15	2	29	9		11	9		35	4	1	16	22

最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成30年12月～令和元年12月)

三重県中小企業団体中央会

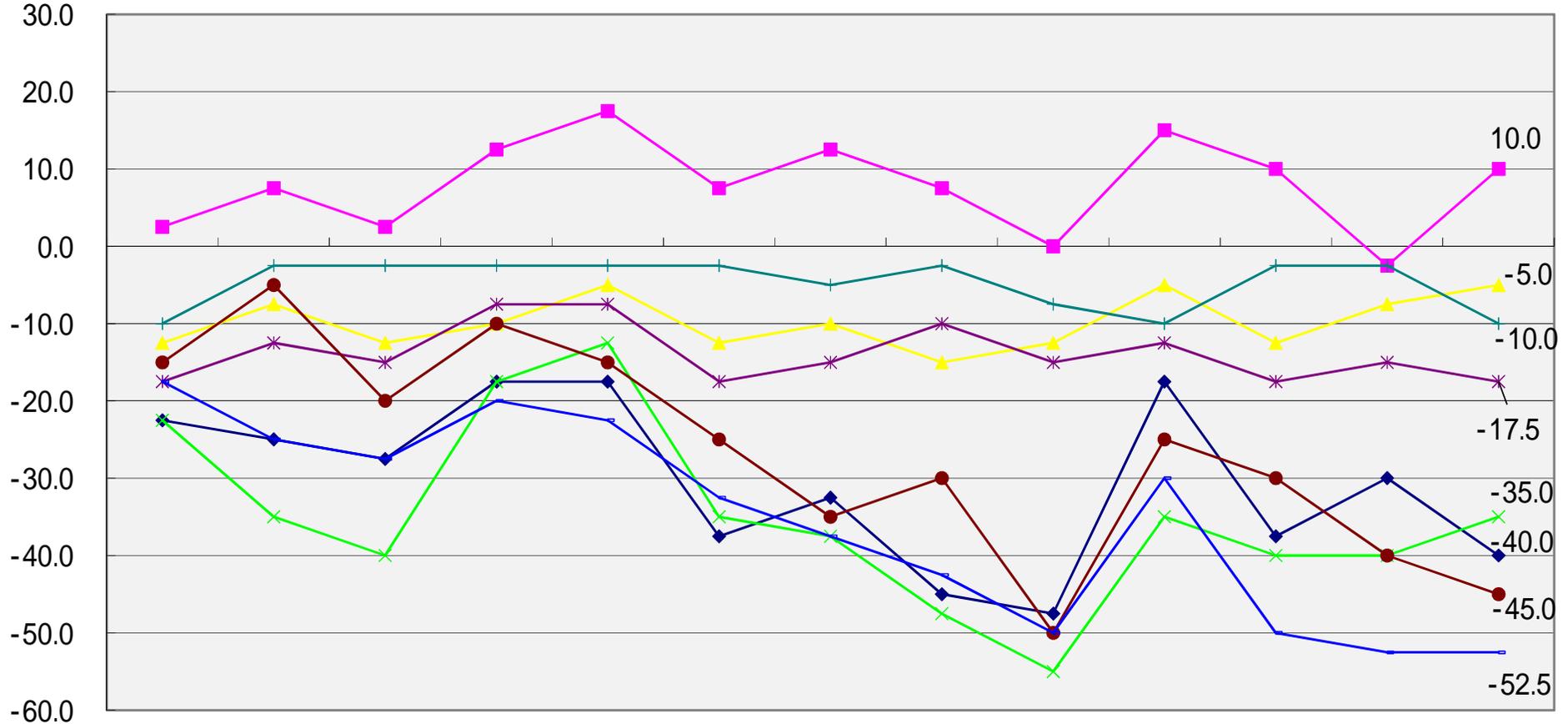
連絡員総数 39名

	30/12月	31/1月	2月	3月	4月	1/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	増減
売上高	-22.5	-25.0	-27.5	-17.5	-17.5	-37.5	-32.5	-45.0	-47.5	-17.5	-37.5	-30.0	-40.0	-10.0
販売価格	2.5	7.5	2.5	12.5	17.5	7.5	12.5	7.5	0.0	15.0	10.0	-2.5	10.0	12.5
取引条件	-12.5	-7.5	-12.5	-10.0	-5.0	-12.5	-10.0	-15.0	-12.5	-5.0	-12.5	-7.5	-5.0	2.5
収益状況	-22.5	-35.0	-40.0	-17.5	-12.5	-35.0	-37.5	-47.5	-55.0	-35.0	-40.0	-40.0	-35.0	5.0
資金繰り	-17.5	-12.5	-15.0	-7.5	-7.5	-17.5	-15.0	-10.0	-15.0	-12.5	-17.5	-15.0	-17.5	-2.5
設備操業度	-15.0	-5.0	-20.0	-10.0	-15.0	-25.0	-35.0	-30.0	-50.0	-25.0	-30.0	-40.0	-45.0	-5.0
雇用人員	-10.0	-2.5	-2.5	-2.5	-2.5	-2.5	-5.0	-2.5	-7.5	-10.0	-2.5	-2.5	-10.0	-7.5
業界景況	-17.5	-25.0	-27.5	-20.0	-22.5	-32.5	-37.5	-42.5	-50.0	-30.0	-50.0	-52.5	-52.5	0.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移

30/12月 31/1月 2月 3月 4月 1/5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月



◆ 売上高
 ■ 販売価格
 ▲ 取引条件
 × 収益状況
 ✱ 資金繰り
 ● 設備操業度
 + 雇用人員
 — 業界景況

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	生産者の高齢化による生産量の減少が続いており、漬物業者自らの原料野菜の生産や県外からの原料野菜の確保を進めている。秋野菜の作付については、台風と長雨の影響により初期の生育の遅れがみられたが、その後の天候の回復により生育が回復している。年末年始の需要に対応するため生産増を進めている。外国人技能実習生を対象とした外国人技能実習評価試験を今後に予定している。
	醤油味噌	日本農林規格等に関する法律に基づくJAS法制度と厚生労働省の製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法であるHACCPを取り入れた管理(2020年6月から)と重複することがないように業界団体の努力により調整できた。今まで醤油と味噌において営業許可が別だったものが、2021年6月から一本化される。食品表示基準において、2020年4月から栄養成分表示が義務となる。
	豆腐	12月の始めに愛知県の比較的大手の豆腐製造業者(年商24億円)が倒産。三重県内の量販店にも商品を大量に供給していたが、三重県内の豆腐製造業者が、その影響でマーケットを拡大するという事はなかった。
	製麺	12月7日、8日と高松市にて「年明けうどん大会」が開催され参加してきた。今回で開催6回目で、6度目の参加である。高松市民の方々は相変わらずうどんが大好きな人ばかりである。毎年1,300食位はいつも提供できている。おかげで、毎年固定客がつき、伊勢うどんファンの方々と話ができるようになった。今年も昨年同様にPR活動に邁進していくので、よろしく願いたい。
繊維工業	テントシート	人材不足により、専門スタッフの日給が高騰している。また、材料、燃料、運送運賃も値上りしている。昨年10月からの消費税増税以降、受注の目減り等、業況に悪化がみられる。
紙・紙加工品	紙器段ボール	12月も暖冬の影響で、冬物商品、食品向けの段ボールケースの需要が大きく減少した。また日中貿易摩擦の影響もあり工業製品向けの出荷量も減少した。昨年同月対比で10%前後の生産量のマイナスになった。
	古紙	12月の取扱い重量は、前年比:段ボールは約97±4%、新聞、チラシは約92±5%、雑誌、雑紙、その他を合わせて約94±6%と思う。製紙会社の製紙原料購入量が10~30%以上減り、年末年始の休みが8~9日間の所が多く、年末年始の古紙在庫でいっぱい古紙問屋が散見され、輸出価格は更に下落している。12月初旬に業界でインドネシアの輸入古紙視察・調査の機会をいただいたが、廃プラスチックの不正輸入があり、輸出国に送り返す事が決定している物があるのと海上コンテナの全数国内検査を実施しており、1,000本以上の海上コンテナが検査待ちで今、古紙の輸入は考えられない旨等を聞いてきた。また、製紙会社で原紙(製品)輸出をさせていただけるとの情報が、需要に向け朗報であった。現在はイランと米国の軍事衝突が起こり、米中の貿易戦争、米・日関係の冷え込み、中国の廃棄物輸入規制等々を考えると世界的な景気の衰退が感じられ「倒産ラッシュ元年の気配」の雑誌の見出しが恐ろしい。加えて無料無人の古紙集荷所でのゴミ投棄は増え続けており、古紙の持ち去り行為も活発で経費も高み、累積で利益が失われる。今年も年末年始の不審火はなく、事故・ケガ等が少なかった事を感謝している次第である。
印刷	印刷	昨年同様 年末年始のチラシ印刷以外は、需要が伸びない。年度末に向けての入札もまだ厳しい業況が続いている。
窯業・土石製品	伊賀焼	令和元年度は、伊賀・信楽古陶館の閉館、消費税増税、それに伴う伊賀焼伝統産業会館1F入館料の無料化の実施があった。また、信楽を舞台にしたNHKドラマの影響もあり、会館の入館者数、陶芸教室は昨年を上回ったが、売上については昨を下回り低調である。
一般機器	四日市	2019年はやや景気が低迷気味で終わった。新元号で迎えた今年はどうなるのだろうか。各組合員は各々の仕事の中で、自助努力を続けてゆくことになる。
	津市	組合の中で2社が悪化という報告があった。そのうち1社は雇用調整助成金を使うかもしれないとの事であった。自動車、住宅業界はここ数ヶ月は前年割れが続き、売上が変わらない所もあるが、来年以降は先行きが不透明である。
	伊勢	自動車業界の景気の悪化が客先全体へ波及している。40%も減少している企業もある。少なくとも3月までは続くと思われる。
電気機器	鳥羽	全体ではマイナスイメージは変わらず、受注先の情報もあまり良くない。昨年比10~15%減少で推移している。
輸送機器	鈴鹿	鈴鹿市内の大手自動車メーカーで生産する新型車の生産開始が遅れている問題は依然として解決されていないようであるが、1月からの生産再開を検討している模様である。しかしながら、当該車種の部品を受注している下請け企業では未だ受注が止まったままであり、生産再開時のフル稼働に向けての体制づくりに苦慮している。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非製造業	青果	野菜前半：大根、キャベツはお買い得。ミニトマト、トマトも安い。北海道産の玉ねぎ、ジャガイモが安定して入荷。野菜後半：鍋物用の白菜、しめじ、白葱等がお値打ち。ブロッコリーも安い。お正月用の小松菜、もち草、ほうれん草も安定して入荷。きゅうり、生椎茸は高い。今年の年末は全体的に安い。果物前半：みかん、柿の入荷が大幅に増えている。りんごは長野産、青森産のサンフジが安定して入荷。イチゴもやや安くなってきた。全体的にお買い得である。果物後半：年末になり、県内産、和歌山産のみかんは味も良く、値上りしている。りんごは長野県北部方面中心のサンフジが蜜入りで美味しい。イチゴは冷え込みと需要が多く高値。贈答用干し柿のころ柿がピークになっている。
	自転車	2019年は希望が開ける展望ができる年ではなかった。しかし、高齢化が本格化した昨今、自動車の運転を諦めた高齢者層に自転車需要が高まってきたようである。自転車販売台数が激減する状況下において、この需要にしっかり対応していかなければならないと思っている。運転を諦めた人の中には、多くはないが若い頃、自転車に乗っていたが長期間全く乗らずにいて、高齢になってからいざ乗ろうとすると非常に困難な人が結構いる。従ってその時が来るまでに、ぼつぼつでよいので、自転車に乗り続けることを勧める。
	石油	12月の燃料油販売数量については、前年対比燃料油販売全体として94%前後の減販状況であった。特に灯油販売状況が前年に対してかなり減販状況であった。原因については、暖冬の影響が大きく、その他の要因としては、電気・ガスストップ及び太陽光設備等の影響により、年々販売数量の減販が大きく影響を受けているのが事実である。12月末からの帰省の交通手段としては、自動車燃料販売の増販を期待したが、原油価格の値上げの影響もあり、前年を回復するまでは至らなかった。
	スポーツ	我々業界で今話題に上がっているのがナイキ社のランニングシューズである。新年早々の箱根駅伝大会でもトップランナーが多く使用していた。特に青山学院大学の選手の多くが使用していた”ズームXヴェイパーフライ”は厚底ではあるが、内側にカーボンシートが入っていて反発力も強く、足が勝手に進むそうである。大会そのものが高速大会になり、区間新記録が続出していた。ただ残念なのは、これらのシューズを我々組合員の店ではほとんどが扱えない商品である。アメリカのナイキ社の考え方なのか、特別店またはネットにての販売となっている。日本のメーカーにこれ以上のシューズを早急に開発してもらいたいと思っている。
商店街	熊野市	googleを活用した店舗情報の掲載方法等の専門家派遣事業を12月に引き続き開催。いかにすれば自店サイトや実店舗に呼び込める事ができるか等の具体例を示していただきながら講義を行っていただいた。
サービス業	旅館	暖冬で天候にも恵まれ、どこも好調に集客していたようだったが、12月中旬から年末までの落ち込みから12月全体では昨年並みの業績であったようである。10月からの消費税増税の悪影響は感じられないが、伊勢神宮への参拝客の県内宿泊施設への取り込みが年末年始にかけての課題となる。
	測量	組合員7社のうち、3社で経費を賄う現状にあり、組合の存続について難しい状況にある。
	警備	警備員数の不足のため、警備料金が少々値上げされても売上高は増加とならない。1月～3月の公共工事が多く発注されるが対応できるかが心配である。
建設業	内装工事業	12月分は前年同月比でプラスとなった。年明けから年度末の3月まで前年は売上高の値が高かったため、今年は減少傾向になると思われる。
運輸業	トラック	貨物輸送量が減少している。景気に減速感が見られる。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	2020年はオリンピック、パラリンピックの年である。海外の方々に伊勢うどんをPRする絶好のチャンスととらえて、PR活動をしていく。
一般機器	四日市	政府の中小企業対策に抜本的な改革を望みたい。
サービス業	旅館	(要望先：法務省出入国在留管理庁)改正入管法による、特定2号の諸手続、書類の簡略化とインターンシップの学生が国内での検定を受験できるよう要望する。
	測量	このままでは廃業に追い込まれるであろう。
運輸業	トラック	内需拡大のための景気対策